***Entry Sheet***

《参加手順および留意事項》

1. 『福岡バイオコミュニティ・アクセラレーションプログラム』への参加を希望される方は、本Entry SheetならびにApplication Sheetに記入の上、E-mailにて大学の窓口に提出してください。
2. 本Entry Sheetの提出を以て、当プログラムへの参加規約、承諾事項、免責事項に同意したものと致します。
3. ご不明の点、ご質問がありましたら、下記事務局までお問い合わせください。

株式会社 久留米リサーチパーク

〒839-0864　福岡県久留米市百年公園１番１号

Phone：0942(37)6124

E-mail：fbv@krp.ktarn.or.jp

**プロジェクト名**（社会実装･商業化プランのタイトル）

|  |  |
| --- | --- |
| 作成日 |  |
| 作成責任者 |  |
| 所属 |  |
| 役職 |  |
| E-mail |  |
| 電話番号 |  |

私および次頁に記載した研究者は、以下の参加規約、承諾事項、免責事項を理解し、それぞれ同意した上で、『福岡バイオコミュニティ・アクセラレーションプログラム』に参加します。

＜参加規約＞

1. 研究成果の権利を有する全ての者の同意を得て応募すること。
2. 福岡バイオコミュニティ・アクセラレーションプログラム（以下“当プログラム”という）では参加者に秘密保持契

約は求めません。発表においては機密保持したい情報の開示を回避すること。

1. 本プログラムの趣旨および⽬的を理解し、真摯に取り組むこと。

<承諾事項＞

　参加申し込みすることにより、以下の各項について承諾したものとします。

1. 当プログラムを運営するAIFAMアセットマネジメント㈱（以下、“AIFAM”という）は、プログラム内で実施するReviewおよびShowcase Event（ピッチコンテスト）の内容を録音、録画をすることができる。
2. AIFAMは、本プログラム用提出資料、録音、録画をAIFAMが運営するTriple Bridge Acceleration Program（以下、“TBAP”という）のWebsite上で開示することができる。
3. AIFAMは、本プログラムに参加したことを公表することができる。

（免責事項）

* 参加規約および募集要項は予告なく変更されることがあります。
* 本プログラムへの参加可否についてはAIFAMが判断し、参加できないことがあります。
* 本プログラムを通じて受領した書面や資料は返却致しません。
* AIFAMは、本プログラムの円滑な運営に努めますが、運営業務以外について一切責任を負いません。
* AIFAMは機器等の故障・停止、停電、天災、騒乱等の不可抗力その他当社の支配の及ばない事由により、本プログラムの全部または一部の中断、中止、遅延が生じた場合、これについて法的な義務および責任は負わないものとします。
1. 研究者

|  |  |
| --- | --- |
| 氏名 |  |
| 現在の役割 |  |
| 所属大学/研究機関 |  |
| 役職 |  |
| 商業化後の関与 |  |
| 会社設立している場合、社名と役職名 |  |

|  |  |
| --- | --- |
| 氏名 |  |
| 現在の役割 |  |
| 所属大学/研究機関 |  |
| 役職 |  |
| 商業化後の関与 |  |
| 会社設立している場合、社名と役職名 |  |

|  |  |
| --- | --- |
| 氏名 |  |
| 現在の役割 |  |
| 所属大学/研究機関 |  |
| 役職 |  |
| 商業化後の関与 |  |
| 会社設立している場合、社名と役職名 |  |

|  |  |
| --- | --- |
| 氏名 |  |
| 現在の役割 |  |
| 所属大学/研究機関 |  |
| 役職 |  |
| 商業化後の関与 |  |
| 会社設立している場合、社名と役職名 |  |

1. 研究成果について
	1. 名称
	2. カテゴリー
2. Primary Category

[ ]  創薬　 [ ]  医療機器 [ ]  検査機器 [ ]  医療器具　　　[ ]  ヘルスケアIT

[ ]  食品 [ ]  その他（　　　　　　）

1. Secondary Category
	1. 概要、先行技術との差別化・優位性、文献発表/特許取得状況等につき、Application Sheetに記入してください。また適用対象もしくは最終製品に関する説明もApplication Sheetに記入いただきます。
2. 研究成果を通じた将来のプランについて
3. 福岡バイオコミュニティ・アクセレレーションプログラムに期待すること